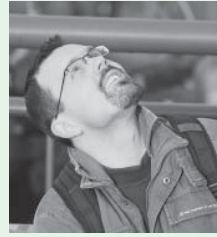


国際交流員 ヨークさんの

MORIYA
滞在記



ベルリンでの5月1日 労働者の日

ドイツはきれいだと思いますか？ ドイツ人は皆まじめに働き、仕事の後笑いながら友達とビールを飲んで、ソーセージを食べる人だと思いませんか？ 確かにこのようなドイツがあるに違いありません。しかし、ドイツにはもう一つの顔があります。今回はベルリンの5月1日、つまり労働者の日のことをお話しします。

から、現在までデモが行われています。

ベルリンのクロイツベルク区で毎年行われていた祭りとデモは、1987年にベルリンのある団体がさまざまな事で怒っていて、気軽な雰囲気が変わり、暴動になりました。夕方から翌朝まで石や火炎瓶を投げたりごみ箱と車に火をつけて道路閉鎖し、警察が区に入らないように戦っていました。その年から5月1日の夜とその前の夜(魔女たちがブロッケン山に集合すると伝えられる)では、ベルリンは違う町のようにになりました。以前と比べると、最近では暴動が少し少なくなりましたが、毎年その日の前に皆は「今回はどのくらいひどくなるのかな」とうわさ話しています。

他のドイツの州から警察官がベルリンに入っても、毎年何人かの被害者がいて、何人かが逮捕されます。私の姉は警察官で、一昨年乗っていた警察車が囲まれて、車を出たところで姉の同僚は、石で殴られて大けがをして入院しました。姉はそ

の事が本当にショックだったと言っていました。さらに団体間でのいざこぎにより、5月1日はベルリンでも大きな問題になりました。数年前にわたってベルリンの政治家とベルリンの警察幹部はさまざまな対応策を考えて、試しました。去年は被害が比較的少なくて、暴力の程度もびつくりするほど少なかったもので、政治・警察がやはり成功の戦略を見つけたのかも知れませんが、今年はどうだったのでしょうか？ 今回の記事を書いているころはまだ、5月1日の事は、わかりません。ただ、暴力がなくて、平和的なデモと楽しい祭りになってほしいものです。



男女共同参画コラム (男女共同参画推進ネットワーク)

だれもがいきいきと輝けるまちを目指して

ちよつと変ではありませんか？ その4

◎娘と息子へ、この希望の差は…？

嫁いだ娘が里帰りしてきました。伴侶も一緒です。この彼はとても良く家庭内の仕事を手伝ってくれます。親の私から見たら娘よりよほど良く動きます。娘に言っただけでやりました。「あなたねえ、少しは手伝ったら？」と。そうしたら何と、「実家に帰ってきた時ぐらいゆっくりさせてよ。彼にはそう言っているし、そういう約束で一緒に来たんだからあ〜」ですって。

しばらくして、息子夫婦も帰ってきました。結婚する前は父親似なのか家庭内のことには手も口も出さないし、食事の支度などは進んでやる息子ではなかったのですが、彼女のしつけが良いのでしょうか、これまた、良く動くようになっていました。動かないのは娘と息子の父親だけです。二人の男性たちが食事の支度を手伝ってくれて、仕事は

○このコラムに関するご意見・ご感想は、左記までメールをお寄せください。
✉ kyoudou@city.moriya.
ibaraki.jp